

年をとっても安心できる町へ

今年、障がいのある人や介護保険で利用できた移送サービスの NPO がなくなりました。
 嵐山町は、タクシー補助券を拡大しました。タクシー補助券は利用しやすい人と利用しにくい人がいます。
 市街地の方の利用は多いです。北部・南部の人は利用しにくいようです。
 移動は、人にあう、病院に行く、買い物をする、健康に過ごす基本です。

■地域の人のマイカーを使った地域公共交通の確立を働きかけます。

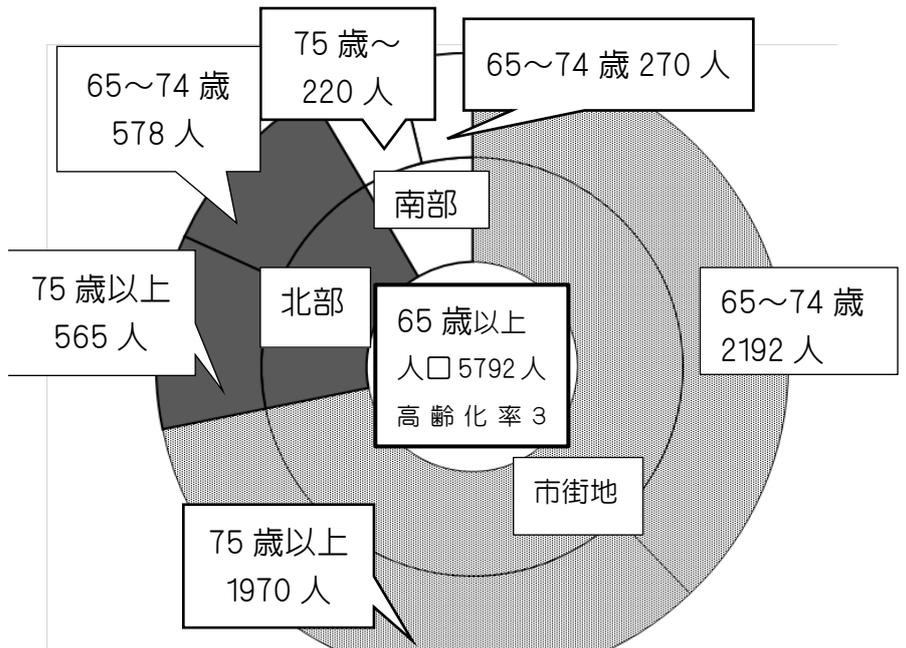
■マイカーでの地域の有償移動の支えあい交通は京丹後市丹後町（2003 年合併前人口 7177 人/高齢化率 35%）で始まっています。

○登録した住民ボランティア（有償）が 10 人乗りのバスを 2 路線、曜日をかえて週 3 回、運行します。
 （運行委託料は年間 208 万円、ランニングコストは 59 万円）

利用日の前日の 17 時までに予約します。予約した 5 分前に指定の場所で待ちます
 一部の地域を除いて、必要な場所で乗り降りができます。

○スマートフォンの「ウーバー」というアプリを使ってマイカーボランティアと利用したい人がマッチングして、町内乗降自由で移動できます。アプリが利用できない利用者に代わって、運行を依頼できる制度です。（年中無休・8:00～20:00、利用回数は月に 60 回以上、最初の 1.5km は 480 円 1km ごとに 120 円が加算されます。）

○京丹後市丹後町では、高齢者や障がいのある人だけでなく、観光客も利用できます。



地区	比率	地域名
市街地	72%	菅谷・川島・むさし台・平沢・志賀・千手堂
北部	20%	古里・吉田・越畑・勝田・広野・杉山・太郎丸
南部	8%	鎌形・大蔵・根岸・将軍沢・遠山

■吉見町社会福祉協議会では、『ささえあいサービス事業』で、片道 800 円～900 円で車いすや障がいのある人の移動を実施しています。

○買い物代行、付き添い外出支援、部屋の掃除、ゴミ捨て、話し相手見守りは 30 分 300 円。
 サービスの提供者は、吉見町のささえあいサポーター会員として登録した吉見町民です。